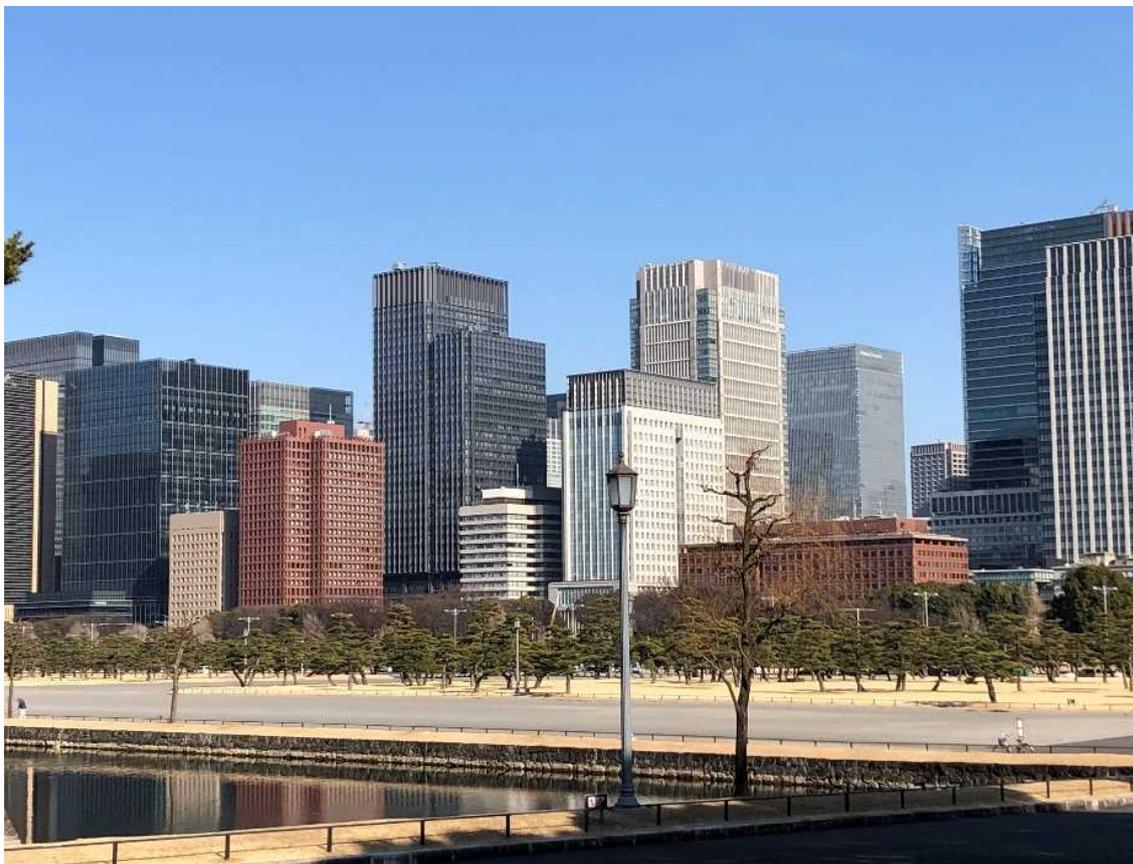


第4回「昭和建築を守る価値」

「存続のために2」丸の内界隈の記憶継承は？どうすれば TMIB を残せるのか

6/10 建築家会館 1階ホール



丸の内では巨大な再開発により、興銀本店（村野藤吾）三和銀行本店（日建）などの昭和の大事な名建築が失われていった。今後さらに既存建築を解体し超高層化する計画が多数ある。その一つが東京海上ビルの再開発。このような再開発はなぜ起こり、なぜ解体から守れないのか。第4回は「存続のために2」ということで昭和建築を守る価値と意味を考える。

【第一部】 政治と経済、景観論争を視野に入れ、建築と街の記憶継承の価値を語る
富永譲氏（30分）野沢正光氏（30分）

【第二部】 「建築の存続」の意味と東京海上ビルディングを残す方策を考える。
富永譲×野沢正光×大宇根弘司の3人の対談

- 日時 : 6月10日（金）18:00~20:00（受付17:30）
- 場所 : 建築家会館本館1階ホール 東京都渋谷区神宮前2-3-16
- パネラー
 - ・富永 譲 建築家 法政大学名誉教授
 - ・野沢正光 建築家 JIA 環境会議前議長 住宅遺産トラスト代表
 - ・大宇根弘司 建築家 JIA 元会長 TMIB を愛する会幹事
- （司会進行） 宮田多津夫
- 参加人数 : 会場50名（先着順） WEB オンライン参加（100名） 共に無料
- 申込方法 : メールにて申し込みください Eメール: jimu@tmiblove.com
※オンライン参加をご希望の場合はその旨お書きください。（100名）
- 署名のお願い: TMIB を愛する会の活動署名を行っています。また活動寄付金と書籍「え、ホントに壊す？東京海上ビルディング」の販売をします。ご協力下さい。



野沢正光氏

富永譲氏

富永譲

建築家 日本建築学会会員、日本建築家協会会員、法政大学名誉教授

- 1943 奈良県出身（台北市生まれ）
- 1967 東京大学工学部建築学科卒業
- 1967 菊竹清訓建築設計事務所勤務
- 1972 富永譲＋フォルムシステム設計研究所設立
東京大学助手ほか、日本女子大学、東京芸術大学で教鞭
- 2002 法政大学教授 2014 法政大学名誉教授

主な受賞歴

- 日本建築学会作品選奨（茨城県長町アパート）
- 日本建築学会賞（作品）（ひらたタウンセンター）
- JIA 環境建築賞（成増高等看護学校）BCS 賞（八幡厚生病院本館）

野沢正光

建築家 一般社団法人住宅遺産トラスト代表理事

- 1944 東京都生まれ
- 1969 東京芸術大学美術学部建築学科卒業
- 1970 大高建築設計事務所入所
- 1974 野沢正光建築工房設立
- 現在 横浜国立大学非常勤講師
- 今までに、武蔵野美大客員教授、法政大学、東京藝大、東京大学講師